



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2011.4.3 Vol. 128

三蔵五訓

真理を探究し、道理を实践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



祝 入学



入学式 学長告辞	1
総長あいさつ	2
学習に取り組む前に	3~4
キャンパスライフへの指針	4
社会連携研究推進事業	5
福山大学リレー講座	5
ET ロボコン	6
海洋研究 公開シンポジウム	6
研究室紹介	7
教員著書	7
就職への取り組み	8
合同企業説明会・企業懇談会	8
学生の活動	9
備後就活仕掛け塾	9
INFORMATION	10
行事予定	11



新しい世界と出会い、 新しい自分を発見する

平成23年度入学式 学長告辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ福山大学においてくださいました。福山大学教職員一同、そして在校生一同、新しい仲間を迎えることが出来たことを心から喜び、心から歓迎します。また、ご臨席のご家族の皆様には、ここまで育て、そして福山大学へと、物心両面でご支援いただきましたこと、こころより感謝申し上げます。新入生とご家族の皆様のご期待に十二分に答えて、これから卒業までの期間、新入生の皆さんの広範な人間形成に向け、教職員一同全力を挙げて取り組む所存です。ご家族の皆様には、引き続きの物心両面でのご支援を、よろしくお願いいたします。

福山大学は、今年度創立36年目を迎えます。卒業生総数はおよそ3万人で、その中から備後地域を中心に、地域のリーダーや中堅となる人材が、つぎつぎと出てきています。創設者による建学の精神は、「人間性を尊重した調和的な全人格陶冶を目指す全人教育」ですが、この精神は、5学部14学科を擁する、人文社会系、理工系、医療系を含む中国地方唯一の私立総合大学となった今日まで、脈々と続き、私ども教職員が行う教育支援の中心的理念となって受け継がれています。他方で、学生の気質の変化や社会のニーズの変容に対応して、教育内容や方法については、特にここ数年、本学は教育改革に精力的に取り組んでおり、現在私どもは自信を持って、新入生の皆さん一人ひとりに合った教育を提供できるシステムを構築しています。この福山大学の教育システムの下で、着実に知識を蓄

え、技能を磨き、未来を指向して社会に貢献する態度を身につけて、福山大学を卒業あるいは修了して行かれることを期待しています。

さて、教育システムの具体は、明日からのオリエンテーションでおいおい担当の教員が説明することとしまして、そのシステムのバックボーン(精神)ともいうべきものについて、少しお話したいと思います。近年ますます科学・技術の進歩は速く、それに伴って社会の変化はグローバルになり、そして一人ひとりの生活も、日本の社会のありようも、世界の動きも、未来の予測がますます難しくなってきました。そのような時代の様相は、時に若者を不安にし、刹那的にするかもしれません。このような時代環境の中にあって、新入生の皆さんは何を大学での人間形成の目標にされているでしょうか。

大学では、高等学校までの教育機関と比較し、非常に多くの人と、それとも多様な人と、日々出会うことになると思います。大学の中だけでも、学生と教職員合わせて4千人近くいて、様々の領域で様々に活動しています。それは総合大学ならではの強みでもあります。さらに、地域の様々の人ともボランティア活動、インターンシップ、学外実習等々で交わります。人との出会いは、新しい世界との出会いであり、新しい自分との出会いでもあります。今の自分の殻に閉じこもることなく、まず積極的に他者と交わり、それによって自分の世界を広げていってください。それが皆さんが社会に出て行ったときの大きな力になります。またそれぞれの学部・学科で専門的なこと

を学びますが、そのとき学び方も学びましょう。今の時代、何かについての知識・技能・資格を身につけたら、それで一生がわたれる、ということはありません。一生学び続けて、変化する社会を生き抜く、生涯学習の時代です。そのためには未知の新しいことを学ぶときの学び方をしっかり身につけておく必要があります。大学は、学び方を学ぶ最良の場です。

さらに、学んだことは積極的に使ってみましょう。現代という時代においては、知識を持っていることが重要なのではなく、それが活用できる、ということがとても重要です。人の輪を広げて世界を広げる、学び方を学ぶ、学んだことを活用することを学ぶ。これらはすべて相互に関連しています。そしてこれらはいずれも、卒業後の人生設計のために、大学にいる間にぜひ学んでいただきたいことです。本学では学部の1年次の時から、必修のキャリア教育が始まります。人生の目標を定め、人生設計を立てる、そのための自己探求と自己形成の期間として、本学で多くのことを学んでいただきたい、それが創設者の言う「人間性を尊重した調和的な全人格陶冶を目指す全人教育」の今日的意味でもあります。

新入生の皆さんの実り多い大学生活をここから願い、そして私達教職員は惜しみなくそれを支援することをお約束して、入学式告辞とします。

平成23年4月3日
福山大学 学長 松田 文子



「三蔵五訓」の理念のもと

平成23年度入学式 総長あいさつ

本日は、ご来賓並びに多数の保証人各位のご出席のもと、福山大学の入学式が挙行されますことを心からお慶び申し上げ、一言ご挨拶申し上げます。

新入生諸君、入学おめでとう。ようこそ、私たちの福山大学へ入学して来られました。私たち教職員と在生学は、諸君の入学を心から歓迎いたします。そして今日から始まる皆さんの学園生活が実り豊かであれと心から願っております。

皆様と今日こうした出会いを大事にしたいと思っております。先日の東北関東大震災の発生に伴う津波により多数の犠牲者が出ました。本当に驚かれたことと思います。

これについて、諸君はどのような感想をもたれましたでしょうか。

私は、自然とは怖いものだとかつくづく感じました。実は私たちの大学の建学の理念に三蔵五訓といったものがあります。後程まとめて説明しますが、これは本学創設者宮地茂先生が、本学を設立する際にこんな人材を養成したいということでまとめられたものです。その中に、「生命を尊重し、自然を畏敬する」とあります。生きとし生ける者の命を尊び、また自然を崇高・偉大なものとして敬い尊ぶとあります。

これは何も自然崇拝とかいった宗教的なことではなくて、私たちは、自然には勝てないということを知ろうということだと思えます。

つまり、私たちは自然の影響から逃れるべく、色々な克服を試み、科学、文明が発展してきました。しかし今のところどんなに頑張ってもなかなか自然に勝てることはできていません。もっと自然の力の有り難みと恐さを知って、謙虚に生きるのがよいということだと思えます。

自然の有り難みを大いに利用し、ま

た自然の脅威からいかに身を守るかといったことだと思います。入学式の冒頭から何か説教じみたお話しになって申し訳ないのでもとに戻りますが、福山大学は今年で創立36周年を迎えます。卒業生総数はおよそ3万人強、5学部14学科を擁する西日本有数の総合大学です。そのきめ細かい少人数教育には定評があり、高い評価を受けております。スポーツ面でも非常に活発です。さらに本学の教授陣容は、業績豊かな先生方で、大変充実しており、教育・研究の上でも有数の総合大学であります。学生諸君はまずこのことを十分に承知して、名実ともに兼ね備わった大学であることを認識し、自信と誇りをもって学んで下さい。

さて本学には創設以来、連綿と続いている建学の理念があります。「三蔵五訓」です。そこには本学創設者宮地茂先生の大学創建への熱い想いが込められています。

「三蔵五訓」には、1.物事に常に前向きに取り組む 2.組織の目的・目標に向かってみんなと協力、協調して、積極的に取り組む 3.多少の事では、へこたれない、強い忍耐力をもつ 4.道理をわきまえ、規範意識を強くもつ 5.自然を畏敬し、謙虚さを備える、このような人間になってほしいという願いが込められています。

現在の日本は、少子高齢化に加え、戦後66年を迎え、かなり老朽化した閉塞感漂う社会になっております。また国際社会も、先進国の弱体化と新興国の台頭が鮮明となり又日本の存在も小さくならうとしています。

このような状況下においては、私は若い諸君に大いに期待をしております。是非頑張って、夢と希望溢れる国を築いて頂きたい。特に先日の大地震に打ち拉げられることなく、この日本

を立派な国に立て直して頂きたい。

そこで今諸君にとって大切なことは、この緑に包まれた静かな環境の中で、これからの社会及び人生をじっくり考え、いかに目的意識をもって、充実した学園生活を営むかということです。

諸君は一日も早く将来への希望、夢を見つけ目標を持って下さい。そしてその目標に向かって邁進し、勉学に、スポーツに、サークル活動に積極的に取り組めば、洋々たる前途を切り拓くことができます。専門的な知識のみならず、基礎学力の必要性も認識でき、他者との交流にも意欲が湧き自信と誇りをもつようになります。これからの時代は意欲をもった者が勝者となります。つまり使命感と責任感を持った者が勝ちです。

どんな事でも一生懸命夢中になって打ち込み努力したことは、決して無駄になりません。スポーツに没頭し、必死になって努力した選手ほど一般社会でも立派に仕事をしています。この4年間ないし6年間という限られた時間を、学問にスポーツに、クラブ活動に、小集団活動、社会貢献活動に情熱を燃やして下さい。それにより豊かな人間性を形成し、終生のよき友と師を得て、人格的に一廻りも二廻りも大きくなっていただきたい。

「教えるとは夢を与えることなり」という言葉があります。熱い眼差しまなざしの学生諸君に対して情熱を傾ける私たち教職員一同は、学生諸君が自信と誇りと夢をもてるように、最大限の努力をいたします。学生諸君もぜひそれに応えて下さい。

以上を以て挨拶とします。

平成23年4月3日
学校法人福山大学

総長 宮地 尚

学習に取り組む前に

楽しく生活!!

経済学部

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。そして、受験勉強お疲れ様でした。

これから楽しい大学生活が待っています。その中で私がこうした方が良いと思うことをいくつか伝えたいと思います。

まず一つ目は、授業はまじめにしっかりと休まず頑張りましょう。毎日の積み重ねの中で、自分に合った個性を磨く何かが見つかると思います。

そしてもう一つ、たくさん遊びましょう! 大学生活を勉強一本で頑張ろうと思ってい

る人も中にはいると思いますが、大学は人とのコミュニケーションや色々な社会を体験する場所だと私は思っているの、勉強する時と遊ぶときの切り替えをきっちりとつけ、メリハリある自分磨きの学生生活を送って下さい。

大学在学中に、自分のスキルをどのように上げていくかは、すべて自分自身の考え方一つで変わっていきます。

ぜひ、充実した楽しい実のある4年間を送って下さい。



税務会計学科 4年 金原 裕幸

チャレンジしよう!

人間文化学部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学では、高校とは違って、受ける授業を自分で決めます。好きなように時間割を組むことができるので、空いた時間に課題をしたり、バイトをしたりすることができます。はじめは難しいと思いますが、慣れてコツをつかむと、よい時間割を組むことができますよ。

新入生の皆さんにはぜひ何かのサークルに入ってもらいたいと思っています。サークルに入って、クラスの人だけでなく他の学科や学年の人たちとふれあうことで、新たな自分



を発見できるので、本当にオススメです。私は、1年生の秋ごろに演劇部に入部しました。はじめは一人で不安でしたが、先輩や同級生がすごく優しくしてくれたので、今まで続けられることができました。演劇部では、普通の大学生活では学べないことをたくさん学べました。皆さんが大学生活をよりよく過ごせるよう応援しています。

メディア情報文化学科

4年 村上 加奈

充実した大学生活を!

工学部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。期待と不安が入り交った心境だと



思います。皆さんが4年後に「こんなことがあったなあ」と笑顔で振り返ることができる充実した大学生活を送れるようなアドバイスができればいいなと思います。

まずは得手不得手に関わらずさまざまな事にチャレンジして欲しいです。学業、サークル活動、日常の何気ない瞬間...何が残るかは本人にさえわからないと思うからです。

そして、目標を持ちましょう。大きくても小さくても、その目標が辛い時に支えてくれる大切なものになると思います。

最後に、せっかく色々な学部学科、サークル団体のある福山大学に入学したので、色々な人と関わり、さまざまな事に興味を持って積極的に行動してみてください。そこから得るものは大きいと思います。自分を成長させる、有意義な大学生活を送ってくださいね。

機械システム工学科 4年 大村 佳苗

キラリと光る大学生活を!

生命工学部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの大学生活で、よく学び、よく遊ぶことを通して自分が本当にやりたいことをどんどん発見していって下さい。大学での授業は、基礎分野から専門分野まで幅広い分野について勉強するので、自主性と積極性を持って取り組み、早いうちに知識を蓄えていきましょう。蓄えた知識は、学生実験や研究を行う上で必ず役に立つと思います。また、勉強だけで

は疲れてしまうので、サークル活動や大学祭、学長杯争奪競技大会などの活動にも積極的に参加して、さまざまな学年や学部の人たちと交流を深めてみるのも良いのではないかと思います。

新入生の皆さんは、これから始まる新しい生活で、さまざまな事を学び、さまざまな人と交流し、充実したキラリと光る大学生活を送ってほしいと思います。何事にもチャレンジ精神を持って頑張ってください。



生物工学科 4年 川上 司

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。希望と期待で胸が膨らむ反面、不安な気持ちも隠せないのではないかと思います。

大学の勉強は、高校までの勉強とは異なりより専門的な内容を学ぶようになります。自ら積極的に学びわからないことがあれば、図書館で調べたり、先生に聞きに行くなどして取り組んでください。また勉強だけではなく学祭、サークル活動、ソフトボー

ル大会など楽しいこともたくさんあります。高学年次での研究室配属でも、研究に加えてさまざまなイベントが開催されているので楽しみにしててください。

入学した頃は6年間というのは長いと思っていましたが、今になってみるとあっという間だと感じています。6年間の大学生活の中で辛いこと、楽しいことなどたくさんあると思いますが、みなさんが理想とする薬剤師像に向かって頑張ってください。



薬学部 6年 山根 有美子

キャンパスライフへの指針

充実した教育プログラム

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心から歓迎しています。

本学では、皆さんの知識、技能及び態度に価値ある変化が起こるようにと共通教育科目(初年次教育科目、共通基礎科目、教養教育科目、キャリア科目)と専門教育科目が設定されています。共通教育科目は基本的な知識を習得するとともに教



コミュニケーション(交流学习)

養を備え、創造性豊かな人に育ってもらうためのものです。特に、初年次教育科目としての教養ゼミでは、教員に1年次生が少人数で配属され、友人や教員と対話する機会も増えますので、皆さんの社会性が養われるのを期待します。また、教養講座も開かれます。キャリア科目では、生き方や将来の夢への実現を考える科目として位置付けられています。専門教育科目は各学部学科で特徴ある科目を開講しています。皆さんは講義・演習・実習を履修、さらに卒業研究・論文を通して「問題発見能力・解決能力」や「コミュニケーション能力」を養っていくことになります。

その他、教員免許など種々の資格が取得できるように対応しています。

また、皆さんの学習を支援するために、学習支援相談室が設けられていますので、気軽に覗いてみて下さい。

本学では進級・卒業するのに定められた単位を取得することが必要です。これらのことは「学生便覧」に詳しく記載されていますが、不明な点はクラス担任や教養ゼミ担当教員または教務課に相談してください。

皆さんの日々の意識の持ち方ひとつで大学生活は大きく変わります。まずは友人や教員との対話を通して知的に向上することの喜びを感じながら、役立つ自分を認識して、自信を持って自分を好きになって欲しいと思います。

教務委員長 鶴田 泰人

大学生活のスタートに向けて

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しく始まる大学生活に胸をときめかせて、福山大学の門をくぐられたことでしょう。入学式では、いろいろなサークルの先輩達が皆さんを出迎えてくれたことと思います。これから、正式なサークルの紹介や入部の手続きが始まります。是非とも、進んで参加してください。

では、学生生活について、いくつかアドバイスをしていきましょう。皆さんは、入学式当日に、福山大学の学生証をもらって、正式に大学生活を始めることになりました。この学生証は、皆さんの身分を証明するものなので、常に携帯するようにしてください。大学の中では、いろいろな証明書をも

らう時や学期末試験の受験の際には、学生証が絶対に必要となります。また、皆さんの大学生活のサポートを直接的にしてくれるのは、担任の先生や学生課の職員の方々です。大学生活で、困った時や相談したいことがある場合には、遠慮せずに早めにコンタクトを取ってください。また、学生便覧には、各種の規則や学内の地図などが載っていますので、是非とも目を通しておいてください。

4月5日からは、早速、各学部学科に分かれて、新入生合宿オリエンテーションが始まります。これを通して、これからの大学生活の支えとなる友人達や先生方との交流を深めてください。また、オリエンテー



活躍するサッカー部

ションの際には、クラス委員や三蔵祭運営委員の選出も行われますので、積極的に応募してください。すばらしい大学生活のスタートが切れますように。

学生委員長 菊田 安至

地 域 連 携 活 動

社会連携研究推進事業

健全なところとからだに支えられたまちづくりプロジェクト

このプロジェクトは、福山大学が教育や研究の多方面で地域とつながることで、地域の活性化に貢献することを目指して3年前にはじまりました。昨年度は、それぞれの活動を推進する一方で、これまでの成果に関心のある多くの人に聴いていただくために、福山大学社会連携研究推進センター（宮地茂記念館）で毎月開催されている一般市民向けの「福山大学発! リレー講座」の場でプロジェクトの中間報告を行い、さらにその結果を報告書にまとめました。平成22年6月から12月までの期間のリレー講座で行った7回の活動報告には、延べ433名の参加がありました。それぞれの講演では、私も引き込まれるような話がたくさんあり、福山大学の教育・研究のすばらしさを再発見した思いです。また、



社会連携研究推進センター



福山大学だけでなく地域の学校や企業、自治体などを巻き込みながら進められている社会連携活動に圧倒されました。講演後のアンケートでは、総合評価で5段階の4.2と高い評価をいただき、記述アンケートでも多くの方にこのプロジェクトの活動をご理解いただけたことが記されていました。一方で、「あまりに専門的で理解が難しい」、「配布資料が分かりにくい」、「内容はすばらしいのに、宣伝が足りない」などの厳しいご意見も頂戴しており、これらを今後の活動の糧としたいと思います。

このプロジェクトは、平成19年に文部科学省による私立大学学術研究高度化推進事業に採択されました。「産業力・技術力」だけに頼らない「活力ある地域づくり」を達成するために、「健康なところとからだ



を持ち、地域に誇りと自身を持つひとづくり」の方法を研究開発することを目指した活動を平成20年に開始しました。「からだづくり」、「産官学連携」、「ところづくり」、「国際文化交流」、「地域の文化再発見」、「メディアコミュニケーション」そして「理科離れ対策」7つのサブプロジェクトに60名の福山大学の教員が参加しています。そして、平成23年度がこのプロジェクトの最終年になります。最後の1年間で、福山大学の社会連携活動の土台をしっかりと固め、「活力ある地域づくり」のためにさらに貢献できる大学となることを目指して活動を続けてまいります。

生命栄養科学科 教授 菊田 安至

「—これからの時代を生きるために— 福山大学! リレー講座」

「リレー講座」は、大学が有する知的財産を活用し、地域社会に貢献することを目的として、平成21年6月から社会連携研究推進センターで毎月開催しています。

昨年度は12回のうち7回は、文部科学省による福山大学社会連携研究推進事業と連携したもので、多様な講座となり地域との結びつきを一層深めることができました。リレー講座は広く一般市民を対象としているため、内容については社会的に関心が高いもの、時宜を得たものなどの工夫をしています。

本年度の第1回は、4月22日(金)18時30分から富士彰夫副学長(経済学部 教授)が「金融危機後の世界経済」と題して分かりやすく講演されます。

福山大学発! リレー講座実施状況一覧

【平成22年度】会場：福山大学社会連携研究推進センター 9階

回	実施日	講師	テ ー マ
第1回	4月27日(火)	位藤 邦生	「文学の効き方」
第2回	5月27日(木)	谷口 順彦	「アユの話あれこれ、川と友釣りのことも」
第3回	6月29日(火)	三宅 幹子	「子どもたちの健やかな育ちに向けて」
第4回	7月22日(木)	内垣戸貴之	「つながるメディアと子どもたち」
第5回	8月26日(木)	佐藤 英治 安楽 誠	「備後地域住民のニーズに基づいたセルフメディケーションの推進に向けて」
第6回	9月30日(木)	原口 博行	「機能性成分の光と影」
第7回	10月28日(木)	香川 直己	「21世紀を担う産業技術へのいざない」
第8回	11月25日(木)	小林 正和	「大学生による中山間地域の商店街活性化の取り組みについて」
第9回	12月16日(木)	島 敏夫	「中国経済の発展と石油市場」
第10回	1月20日(木)	田中 秀征	「最近の政治」
第11回	2月25日(金)	井ノ内直良	「米食のすすめ」
第12回	3月25日(金)	渋谷 博孝	「くすりの種を求めて」

ETロボットコンテストについて

学生を技術者の金の卵とする仕組みと
地域の技術向上に貢献する一方法

ET(エンベデッドテクノロジー: Embedded Technology)ロボットコンテストは、正式名称を「ETソフトウェアデザインロボットコンテスト」といい、組み込みソフトウェア技術教育をテーマとしたロボットコンテストの一つです。そして、2011年度大会の中四国地区大会から、当大学が地区特別協力・開催協力機関となって開催します※1。

この組み込みソフトウェアは言葉こそあまり知られていませんが、家電製品、自動車、産業機器などで特定の機能を実現するために組み込まれたマイコンのためのソフトウェアです。ETロボコンに参加する学生はコンテストを通してプログラミングの技術のみならず、要素分析・設計・評価・改善と一連の開発過程をシステムティックに行う技術と設計概念を身につけ、説明能力やコミュニケーション能力においても質の高いスキルを獲得することができます。

そこで学生の質の向上と地域貢献のため、ETロボコンの中四国地区大会を当校と地域の技術者として開催し、その運営協力を電子・ロボット工学科で行うことになりました。すでに昨年の3月と10月および今年の3月に独自大会を実施し、他県からも多くの参加者が集まりました。特に第2回からは他地区にない企画として入門講座を開き、より広い層の方に関心を持ってもらうこともできました※2。

この活動は、コンテストのみならず、地元高校生を対象とした高大連携授業、一般の方を対象とした地域連携事業、電子・ロボット工学科の授業(実験)への応用などと、幅広い活動となっています。この活動が学校の発展に繋がることを期待してください。

※1 <http://www.etrobo.jp/2011/>

※2 <http://www.fuee.fukuyama-u.ac.jp/ETRoboCon/index.html>

電子・ロボット工学科 准教授 沖 俊任



2輪でバランスをとって走るロボットの性能をプログラミングで競います。



独自大会後の記念撮影



高大連携授業の様子。在学生もTAとして協力しました

第2回瀬戸内海の生物多様性保全および利用に関する研究公開シンポジウム

— 生態系の保全と持続的な生物生産を目指して —

昨年12月4日、社会連携研究推進センター(宮地茂記念館)において、戦略的研究基盤形成支援事業「瀬戸内海の生物多様性保全及び利用に関する実験生理・生態学的研究」の一環として、第2回 瀬戸内海の生物多様性保全および利用に関する研究公開シンポジウムが開催されました。本事業における研究計画の中心課題は、対象海域とした瀬戸内海域の生物多様性の保全とその適正利用にあり、この海域環境内に発生している種々の問題を総合的に究明するため生態的および生理的な実験研究を行うことでした。

各プロジェクトの研究テーマは、プロジェクト1が「瀬戸内備後海域の生物多様性保全に関する生態学的研究」、プロジェクト2が「干潟および藻場生態系の環境保全に関する実験生態学的研究」、プロジェクト3が「瀬戸内海域の有用魚介類の利用および育成に関する実験生理学的研究」、プロジェクト4が「瀬戸内海域の有用魚介類の育種および遺伝的多様性保全に関する実験生態学的研究」およびプロジェクト5が「瀬戸内海域の魚介類疾病の感染環に関する生理・生態学的研究」で

した。このシンポジウムでは、海洋生物科学科で取り組んできた瀬戸内海の生物多様性の保全や水産資源の適正利用などに関するこれら5つの研究プロジェクトにおける3年間の研究成果が発表されました。その他、各プロジェクトの研究テーマに関連した学外研究者をゲスト・スピーカーとして招致し、最新の研究報告がなされました。さらに、田中 克先生(京都大学名誉教授・財団法人国際高等研究所フェロー)が「森里海連環学のすすめ」と題した基調講演を行いました。それぞれの発表の後には活発な質疑応答が繰り広げられ、さらに踏み込んだ内容の討議が行われました。

このシンポジウムには総計132名が参加し、その内一般参加が15名、海洋生物科学科の在学生84名が聴講しました。参加した学生にとっては、幅広い分野におけ



る知見と将来の研究課題などを多岐にわたって学ぶ機会となりました。参加した学生のアンケート調査では、「シンポジウムの講演を聴いて、海洋環境やそこに生息する生物に益々興味が湧きました」、「講演で学んだことを、卒業研究で活かしたい」などの感想が寄せられました。今回のシンポジウムの成果は、これからの我々の研究指針となるばかりでなく、学生にとってはたいへん貴重な勉学の場となりました。

海洋生物科学科 講師 阪本 憲司

卒業研究から現在まで

清水研究室

1969年の卒業研究を研究のスタートとすると、今年で42年目を迎えます。これまでの研究内容について以下に紹介させていただき、感想も併せて述べさせていただきたいと思えます。

卒業研究は、徳島大学工学部電気工学科で、テーマは「同期電動機のトルク制御」について解析と実験を2人で行いました。電動機負荷の変動に対応して励磁電流を制御し、回転速度を一定に保つという研究目的をほぼ達成できたと思えます。

2年間、企業に勤務した後、徳島大学大学院工学研究科修士課程電気工学専攻に入学し、「非線形システムに現れる統計学的跳躍現象の解析」というテーマについてアナログコンピュータを用いてシミュレーションを行いました。入出力信号のサンプリングは、手作業で行いました。不規則な入出力信号の周波数解析の結果、入力信号の周波数成分により、跳躍現象の現れることを確認することができました。後に、海外の研究者が類似した研究結果を発表していることを論文で知りました。



ゼミ室の風景 2月中に撮影

その後、大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程物理系機械工学専攻に入学し、「びわ湖流域の水循環に関するシステム理論的研究」というテーマについてデジタルコンピュータを用いてシミュレーションを行いました。流域の降水からびわ湖への流出までのプロセスは、菅原正巳先生の「タンクモデル」を使用しました。びわ湖の日単位の水収支に基づき、非線形形状推定法を用いて、びわ湖流域の水循環プロセスの各水量を精度良く推定できたのではないかと考えています。後に、国内の他大学の先生が参考にされました。

1977年4月から、本学に勤務し、現在に至っています。土木工学科に交通工学の先生がおられ、以来、「自動車交通を支える交通情報システムの開発」に携わっています。中でも、論文「交通ネットワークの渋滞長制御」が掲載された時の喜びは今も忘れることができません。現在、福山市内と広島市内の道路網を対象に、交通流の円滑化や安全化、環境負荷の低減化に有効な信号制御システムと動的経路誘導システムの開発を進めています。実際に、現地に行き、道路調査や交通調査、信号制御調査を行うことが研究の原点と考えています。手間や時間、経費などがかかりますが、それは、必要なことであると言いつけています。

最後に、私が最も尊敬している科学者の一人であるアインシュタイン博士の言葉を紹介させていただき、結び

研究内容の紹介

卒業研究から現在の研究まで、42年間の研究内容について紹介させていただきます。

①卒業研究

同期電動機のトルク制御

負荷の変動に応じて励磁電流を制御し、回転速度を一定に保つシステムの解析と実験を2人で行った。

②修士課程

非線形システムに現れる跳躍現象の解析

フィードバックに飽和要素を含む非線形システムに現れる跳躍現象について、昭和47年当時、アナログコンピュータを用いてシミュレーションを行った。FFTのプログラムを組み、入力信号と出力信号の周波数解析を行って跳躍現象の発生について考察した。

③博士課程

びわ湖流域の水循環に関するシステム理論的研究

びわ湖流域の降水に始まり、流域貯留、河川流出、湖面からの蒸発を経て、瀬田川の放流に至る水循環プロセスの水量について推定した。昭和50年当時、ミニコンピュータを用い、ベーシックアセンブラ言語を用いてプログラムを作成した。

④福山大学における研究

交通情報システムの開発

現在、信号制御システムによる渋滞長の制御、並びに、出発地から目的地までの最短旅行時間経路の探索について、学生、大学院生、共同研究者併せて合計7名で取り組んでいる。

論文が掲載された時の喜びは、今も忘れることができない。以上の研究のキーワードを挙げると「システムの入出力特性解析」になるものと思われる。

とさせていただきます。「科学なるものも、真理と理解を求める願いに浸されきった人々によってのみ創造される」

情報工学科 教授 清水 光

教 員 著 書

◎平 伸二ら編著

『性犯罪の行動科学』

平成22年9月 北大路書房

(犯罪心理学・人間文化学部)

◎五郎丸 毅・本屋敷 敏雄ら著

『放射化学・放射薬品学(第2版)』

平成23年2月 廣川書店

(放射化学 放射薬品学・薬学部)

◎金尾 義治編著

『NEWパワーブック生物薬剤学 第2版』

平成23年2月 廣川書店

(薬物動態学 生物薬剤学・薬学部)

◎金尾 義治著

『NEWパワーブック物理薬剤学・製剤学 第1版 第5刷』

平成23年2月 廣川書店

(製剤学・薬学部)

『入門薬物動態学 第1版 第4刷』

平成23年3月 京都廣川書店

(薬物動態学 生物薬剤学・薬学部)

◎富田久夫・秦 季之ら著・小野行雄編著

『薬学物理化学 第5版』

平成22年9月 廣川書店

(物理化学・薬学部)

◎古野 浩二・杉原 成美共著

『メタボリックシンドロームの基礎知識』

平成22年3月 ふくろう出版

(衛生化学・薬学部)



合同企業説明会

皆さんもご存じのように、大学生を取り巻く就職環境は年々厳しいものとなっています。昨年は超氷河期とも呼ばれましたが、本学学生は粘り強く活動していました。今年は3月の東日本大震災の影響もあり、今年の就職環境は、昨年以上に厳しいものとなることが予想されます。

4年次生の皆さんは、これからこのような厳しい就職環境を戦い抜いていかなければなりません。企業の求人活動は早期化と長期化の傾向が一層強まり、募集方法もインターネットなどを利用した自由応募制が広まっています。これは、企業がこれまで以上に積極的に意欲を持った人材を求めていることに他なりません。この長期にわたる厳しい選択の場を勝ち抜

くには、なによりも就職に対する強い意欲とともに、積極的に情報を集め、いち早く行動を開始する自主性が必要です。そのためには、まず自分の将来像を描き、目標を明確に定めることが重要です。また、1回や2回の失敗でくじけず、繰り返し、繰り返し最後まで挑戦する強い意志も必要です。迷った時は、就職担当やゼミ担当の先生、就職課の職員の人たちに相談して下さい。多くの人たちがみなさんの就職活動を応援していることを忘れないで欲しいと思います。

3年次生以下の皆さんも、将来の就職に対する強い意識を持って下さい。大学での最終目標は、就職し仕事を通して社会に貢献することにあります。今、皆さんは毎日の勉学において、

社会人となるための力を蓄えているところです。とくに、①前に踏み出す力(action, 主体性)、②考え抜く力(thinking, 問題発見力)、③チームで働く力(team work, コミュニケーション能力)は社会で活動するための基礎力として重要なものです。これらの能力は一朝一夕に身に付くものではありません。日頃から意識して、これらの能力を高める努力が必要です。

福山大学では、学生の皆さんの就職支援を行うために、さまざまな取り組みを行っています。キャリア形成支援センターでは、1年から4年までの体系的なキャリア教育を通じて、学生諸君の社会人としての基礎力を養成するプログラムを整備しつつあります。また昨年、地元企業の協力のもと、BINGOチャレンジインターンシップも始まりました。普段の講義はもちろんですが、キャリア形成支援センターで提供するキャリア教育プログラムやさまざまな催しに積極的に取り組み、将来のための力をしっかりと蓄えていただきたいと思います。

キャリア形成支援センター長
西原 晃

「合同企業説明会」・「企業懇談会」開催される

就職課

就職活動の本番を迎えて (合同企業説明会)

平成24年3月卒業予定者を対象とする福山大学「合同企業説明会」を開催しました。第1回を2月16日に福山ニューキャッスルホテルで、第2回を2月18日に、第3回を3月3日に、ともに福山大学社会連携研究推進センターで開催しました。参加企業は関西以西の

広範囲にわたり、合計174社にのぼり、学生の参加も、延べ人数で約650名でした。個別企業の説明会が始まっている時期でもあり、日程の都合がつかなかった学生も多勢いたと思われます。各企業とも厳しい経済状況を反映し、「少人数・厳選採用」の傾向が強く、社

会人としての基礎的な力、前向きな意欲、問題解決力、TPOを踏まえた対話力のある人材を求めています。福山大学では個々の学生の相談体制を一層強化し、「単独会社説明会」等も適時開催して、学生の就職活動を支援していきます。

企業と本学との情報交換会開催 (企業懇談会) 平成23年3月2日(水) 場所 福山ニューキャッスルホテル

この懇談会は本学創設当初から実施されており、地元企業を始め福山大学、福山平成大学の学生の採用実績がある優良企業を招いて開催しているものです。22年度は例年を越える約200社の企業にご出席いただき、両大学への期待の大きさが感じられる盛大な会合となりました。西原晃就職委

員長の開会の言葉で始まり、宮地尚理理事長・総長と松田文子学長が挨拶を行った後、占部誠福山商工会議所副会頭の力強い音頭による乾杯が行われ懇談に入りました。平成20年の秋から始まった急激な経済の落ち込みと雇用環境の悪化、その後の各業界の動向や新たな展開等を踏まえ、企業の代

表者と各学科教員との間で平成23年度の採用見通しなどについて、突っ込んだ情報交換が行われ、相互の信頼関係を深めました。年度末で多用の中をわざわざ出席していただきました企業の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

第7回公共広告CM学生賞コンテスト優秀賞受賞

メディア情報文化学科

社団法人ACジャパンが主催する「第7回公共広告CM学生賞」で、メディア情報文化学科4年の林徹君、井上広基君、鈴木志保美さん、前田佳澄さん、米丸さつきさんの5名が制作したCM「ことばの矢」が優秀賞を受賞しました。一昨年、昨年に続く快挙です。今年は本学から7作品応募しました。

この公共広告CM学生賞は「日本の未来を担う若い世代が、広告制作を通じて公共広告への理解を深め、社会に主体的にかかわる「公」への意識をはぐむことを目的として企画された賞です。全国の大学などから、156作品の応募があり、応募作品は全国7事務局による1次選考でノミネート作品が絞込まれ、3月9日の最終選考会で厳選に審査され、グランプリ、BS民放賞、部門賞、優秀賞、奨励賞が決定しました。

広告の目的は、その広告の情報によって賞品や企業などに対する意識をポジティブに変えていくこと、一言でいえば「態度変容を促す」ことです。しかし、公共広

告は、見ている一人ひとりの心の奥深くにある正義や美学といった「意識」を味方に付けて、態度を変えていく難しさがあります。

代表の林君は「大学に入ってから始めた映像制作を通して、初めての体験だったので、非常に嬉しく思います。3年生の映像制作の授業で制作した作品です。この作品は、「心ない一言が、いかに相手を傷つけるのか」に気づいてもらうことを意識して作りました。「心ない一言が相手の心をいかに傷つけるか」は、文字で表すと簡単なことですが、映像でいかに印象深く表現するかが大変苦労したところでした。ことばを象徴するおもちゃの矢がハート形の風船を割ることで表現しました。指導頂いた藤森益弘先生、三宅正太郎両先生にはこの場を借りて御礼申し上げます。これからも、ゼミや学科の仲間達と共に映像をはじめ色々な制作に力を注いでいきたいと思っています。」と、力強いコメントがありました。

三蔵祭の期間中に受賞作品を初め学



CM作品「ことばの矢」一場面



CM作品「ことばの矢」キャッチコピー

生が制作した作品の上映を予定しています。どうぞご期待下さい。

メディア情報文化学科
教授 三宅 正太郎

平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」 ——「備後就活仕掛け塾の開設」——

セミナー報告

22年度に予定していたセミナーについては、工学部が3月5日に、経済学部が3月12日に、それぞれを終了することができました。

各セミナーでは、最初の方の講演にはたくさんの学生が参加してくれましたが、第4回目からのゼミでは、課題レポートなどが徐々に厳しさを増すとともに、他の就活に関係した企業セミナーなどと日が重なり、参加人数が減ったゼミもありました。



写真-1：工学部ゼミ風景

しかし、最後のプレゼンテーションに向けても頑張ってくれた学生に関しては、講師の方々のコメントや評価が付けられたレポートにおいて、「コミュニケーション」、「ディスカッション」及び「プレゼンテーション」の三つの就業力に関係する能力を高めることができている報告が見られました。これらに関係する事例紹介として、写真-1には工学部系のゼミでの講師の方々と司会担当の先生方と学生達がディ



写真-2：集中セミナー風景

スカッションを図っている風景を示しました。

その他に、2月下旬に備後周辺で活躍しておられるオンリーワン企業戦士の方々に講師に招き、集中セミナーも開きました。その時の状況を写真-2に示していますが、経済学部3年次生の村上康平君は、9つのすべてのゼミにて積極的に質問や議論に加わり、内容を十分に把握したレポートも提出してくれました。

このような就業力の向上への努力をしてくれる学生が出ることをこの事業の目標の一つとしてきたことから、実施責任者として喜びを感じ、これが次年度も予定しているセミナーへの参加学生へ波及することを願っています。

本事業推進責任者 梅田 眞三郎

世界を体験しよう

国際センター

ご入学おめでとうございます。現代はグローバル化の時代と言われるように、これから皆さんが大学で学んで行く上でも、また、卒業後に社会で活躍するためにも、世界に目を開くことは大切です。国際センターは福山大学の国際交流や留学生の支援を行っています。英語やアメリカに関心のある人はカリフォルニア大学リバーサイド校、また、中国語や急発展する中国に関心のある人は北京の対外経済貿易大学での夏季短期語学研修に参加できます。いずれも本学の教員が同行す

るので海外経験のない人でも安心です。大学や日本学生支援機構からの奨学金の利用が可能であり、学部規定により単位修得も認められるので、是非積極的に参加していただきたいと思います。また、国際センターには多くの留学生が頻繁に出入りしており、歓談スペースもあるので、中国人留学生と交流を図ることが出来、居ながらにしてミニ留学が体験できます。

国際センター長 富士 彰夫



夏季集中英語研修

図書館を利用するにあたって

附属図書館

本学図書館は15号館の本館と、平成22年完成した「医療薬学教育センター(34号館)」1階部分に分館があります。其々に蔵書構成に特徴を持った図書館ですが、誰でも気軽に利用してもらえよう、若者向けのファッション誌等も取り揃えています。しかし、大学の図書館は、皆さんが知っているような文芸書等を中心に集める公共図書館とは違い、専門的な知識を習得できるよう、専門書を中心に集めた図書館です。皆さんは小学校時代から、自主

学習をする際にはインターネットの利用を促され、中学校に入ると携帯電話や電子辞書を持ち歩き、当たり前のように電子媒



体を利用してきたと思います。昨年は電子書籍ブームとなり、図書館でも電子媒体への対応が迫られました。本館では今年1月から、電子書籍も利用可能な5台のiPad館外貸出を開始しました。活用方法は、今後の課題となりそうですが、図書館としては、皆さんが慣れ親しんだ環境に少しでも近づき、氾濫した情報の中から正確な情報のみを取捨選択できるよう指導ができればと思っています。

図書館事務長 桑田 成年

気になることを相談してみませんか

保健管理センター

【健康管理について】

健康管理については、看護師が対応しています。体調や病気、症状に関することや学生生活で困っていること、愚痴など何でもまずは聞いてみて下さい。

1. 疾病・外傷等の応急処置

昨年度は、延べ690名でした。必要に応じて医療機関へ受診してもらっています。昨年度は猛暑であったこともあり熱中症の発症もありました。快適な生活を送るためにも、食事・排泄・睡眠は大切です。体調

管理についての生活指導も行っていますので、何でも相談して下さい。

2. 定期健康診断: 年1回受診

昨年度は、学生87.2%・教職員87.2%の受診率でした。受診結果は個人宛に通知しています。必ず受診して健康状況について知して下さい。

3. 禁煙指導

呼気中一酸化炭素濃度を測定し、喫煙が体に及ぼす影響を知ることができます。禁煙のきっかけにどうぞ。

【カウンセリング相談の紹介】

当センターには、学生からの相談を受ける心理カウンセラーが常駐しています。相談内容は、心の不調に関するものだけでなく、学生生活に関わる悩み全般を含みます。さまざまな悩みを抱えて来室してきています。また、ご家族や他機関と連携しての学生サポートも行っています。何か困っていることがある時は、相談してみてください。

保健管理センター長 渡邊 誠

インターネットやパソコンを使いこなそう

情報処理教育センター

現代社会はユビキタス社会とも呼ばれ、パソコンやインターネットの活用が日常生活の中まで入り込んでいます。情報処理教育センターは、大学教育センターの中で情報教育を統括するセンターです。情報の基礎教育に関することや情報機



器のインフラを整備するための役割を担っています。情報処理教育センターのパソコン室は、1号館と23号館にあります。パソコンはインターネットに接続されており、無線LANや情報コンセントなども利用できます。MSWord、Excelはもちろんのこと、ホームページビルダーやPaint Shop Proなどの豊富なソフトが利用できます。授業以外の時間帯でも、これらの設備を自由に使って頂けます。特に、土曜日と5時限目は、ほとんど授業で使われていませんので、これらの空き時間に自由に利用して

下さい。

大学の教育に目を向けますと、情報リテラシー教育はもちろんのこと、各学部・学科における専門教育においても、パソコンやインターネットを利用して教育効果を上げています。学内には多くのパソコンが設置されており、高速通信回線を通して、インターネットを利用することができます。情報モラルを守って、インターネットやパソコンを使いこなして下さい。

情報処理教育センター長 筒本 和広

平成23年度 主要行事日程予定表

4月1日(木)	前期(4/1～9/15)
4月3日(日)	入学式
4月3日(日)～4日(月)	学内オリエンテーション(新入生)
4月5日(火)～6日(水)	新入生合宿オリエンテーション・セミナー
4月6日(水)～7日(木)	学内オリエンテーション(在学生) 各種説明会
4月6日(水)～15日(金)	定期健康診断(学生)
4月8日(金)	前期授業開始
4月11日(月)～12日(火)	履修届提出(全学年)
4月23日(土)	6年次生保証人との就職懇談会(薬学部)
5月15日(日)	開学記念日・学長杯争奪競技大会
5月17日(火)～19日(木)	教職員健康診断(特殊健康診断を含む)
7月27日(水)	前期授業終了
7月28日(木)～8月5日(金)	全学期前期定期試験
8月6日(土)	夏季休業開始
8月20日(土)～9月11日(日)	教育懇談会
9月20日(火)	夏季休業終了 後期オリエンテーション
9月21日(水)	後期授業開始 後期(9/16～3/31)
9月中旬～10月中旬	大学院入試
9月中旬～10月下旬	公開講座
10月9日(日)	平成24年度指定校入学試験
10月21日(金)～24日(月)	大学祭(三蔵祭)・学長杯争奪競技大会

11月6日(日)～7日(月)	平成24年度推薦入学試験(A日程)
11月22日(火)	教職員健康診断(特殊健康診断を含む)
11月下旬	3年次生保証人との就職懇談会 (経済学部・人間文化学部)
12月中旬	3年次生保証人との就職懇談会 (工学部・生命工学部)
12月10日(土)	平成24年度推薦入学試験(B日程)
12月20日(火)	授業終了
12月21日(水)	冬季休業開始
12月28日(水)～1月4日(水)	仕事納め 年末・年始休業
1月4日(水)	冬季休業終了
1月5日(木)	仕事始め 授業開始
1月14日(土)～1月15日(日)	大学入試センター試験
1月31日(火)～2月3日(金)	平成24年度前期入学試験(A日程)
2月6日(月)	後期授業終了
2月7日(火)～16日(木)	後期定期試験
2月20日(月)～29日(水)	学部・学科別行事
2月21日(火)	平成24年度前期入学試験(B日程)
3月1日(木)	春季休業開始
3月上旬	企業懇談会
3月13日(火)	平成24年度後期入学試験
3月20日(火)	学位記授与式(卒業式)

【備考】

本予定表は全学的な関係行事に限定したもので、各学部・各部局・各委員会などについては、その都度必要に応じて月間予定表に記載されます。

4月の行事

4月3日(日)	入学式 新入生オリエンテーション
4月4日(月)	新入生オリエンテーション
4月5日(火)	新入生合宿オリエンテーション オリエンテーション 【薬学部6年次生】
4月6日(水)	新入生合宿オリエンテーション 学科別オリエンテーション 【2～5年次生】 定期健康診断 【男子:2・4・6年次生,院M2・D3:大学会館】
4月7日(木)	各種説明会 【2～6年次生】 定期健康診断 【午前男子/午後女子:2・4・6年次生,院M2・D3:大学会館】

4月8日(金)	授業開始 定期健康診断 【女子:2・4・6年次生,院M2・D3:大学会館】
4月11日(月)	履修届提出 定期健康診断 【男子:2・4・6年次生,院M2・D3:大学会館】
4月12日(火)	履修届提出 定期健康診断 【午前女子/午後男子:1・3・5年次生,院M1・D1・D2:大学会館】
4月13日(水)	定期健康診断 【男子:1・3・5年次生,院M1・D1・D2:大学会館】
4月14日(木)	定期健康診断 【午前男子/午後女子:1・3・5年次生,院M1・D1・D2:大学会館】
4月15日(金)	定期健康診断 【午前女子/午後男子:1・3・5年次生,院M1・D1・D2:大学会館】

※今年度から、健康診断は年1回になりました。

編集後記

桜の季節がやってきました。新しいスタートの季節です。福山大学では年に4回学報を発行しており、在学生、保護者、教職員などに配布しています。したがって、学報の主な読者はこれらの方々なのですが、4月に発行する学報はどうしても「新入生に読んで欲しい!」という気持ちが強くなります。「新しい環境にスムーズに慣れて欲しい!」とか、「福山大学はどんな大学なのかを知って欲しい!」という気持ちで「学習に取り組む前に」、「キャンパスライフの指針」、「学生の活動」、「INFORMATION」などの記事を編集しました。
学生、教職員が一体となって楽しく活発なキャンパスライフを送りましょう!学生や教職員の活躍は7月号でたくさん紹介したいと思っています。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>